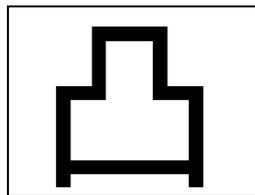
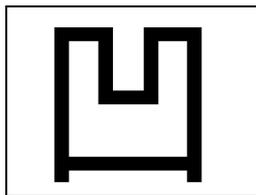
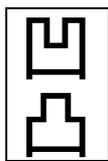


【板書事項】



【指導の流れ】

- 1 カードに書いた「凹凸」を提示。
 「何と読むでしょう。」
 C「がたがた」「だんだん」・・・
 「山と谷を表す記号」・・・
- 「おしい。『凸』に『お』をつけて『お凸』とすると分かるかな。みんなの体にもある読み方だよ。」
 C「あつ、分かった。『おでこ』。だから、これは『でこ』です。」
- 「そのとおり。二つ合わせて『でこぼこ』と読みます。」
 C「へえ、漢字なんだ。」
- 「そうです。他にも読み方がありません。読めるかな。」
- 2 「凸レンズ」「凹み」「凹凸」のカードを提示する。
 C「凸レンズ」
 C「くぼみ(へこみ)」
 C「おうとつ」
- 「正解です。漢字辞典で確認しましょう。」

【留意点】

- クイズのような感覚で自由に読ませる。
- 「でこぼこ」が出ない場合はヒントとして「お凸」を出す。
 楽しそうな雰囲気で行う。
 記号ではなく、正式な漢字であること
 を確認する。
 今回の学習は、凸凹の「読み」の学習であるが、凸凹の筆順の学習を行うことにより、一学年ですでに学習している次の漢字の原則の復習を行うこともできる。
- A 筆順のきまり
- ・上の部分から下の部分へと書いていく。
 - ・左の部分から右の部分へと書いていく。
- B 書く線の方向
- ・上から下へ書く。
 - ・左から右へ書く。